

鹿児島県屋久島町に レベル5土砂災害特別警報発表

- 最大級の警戒が必要
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒 レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

レベル5 特別警報を発表した地域

9月5日 5時10分 時点

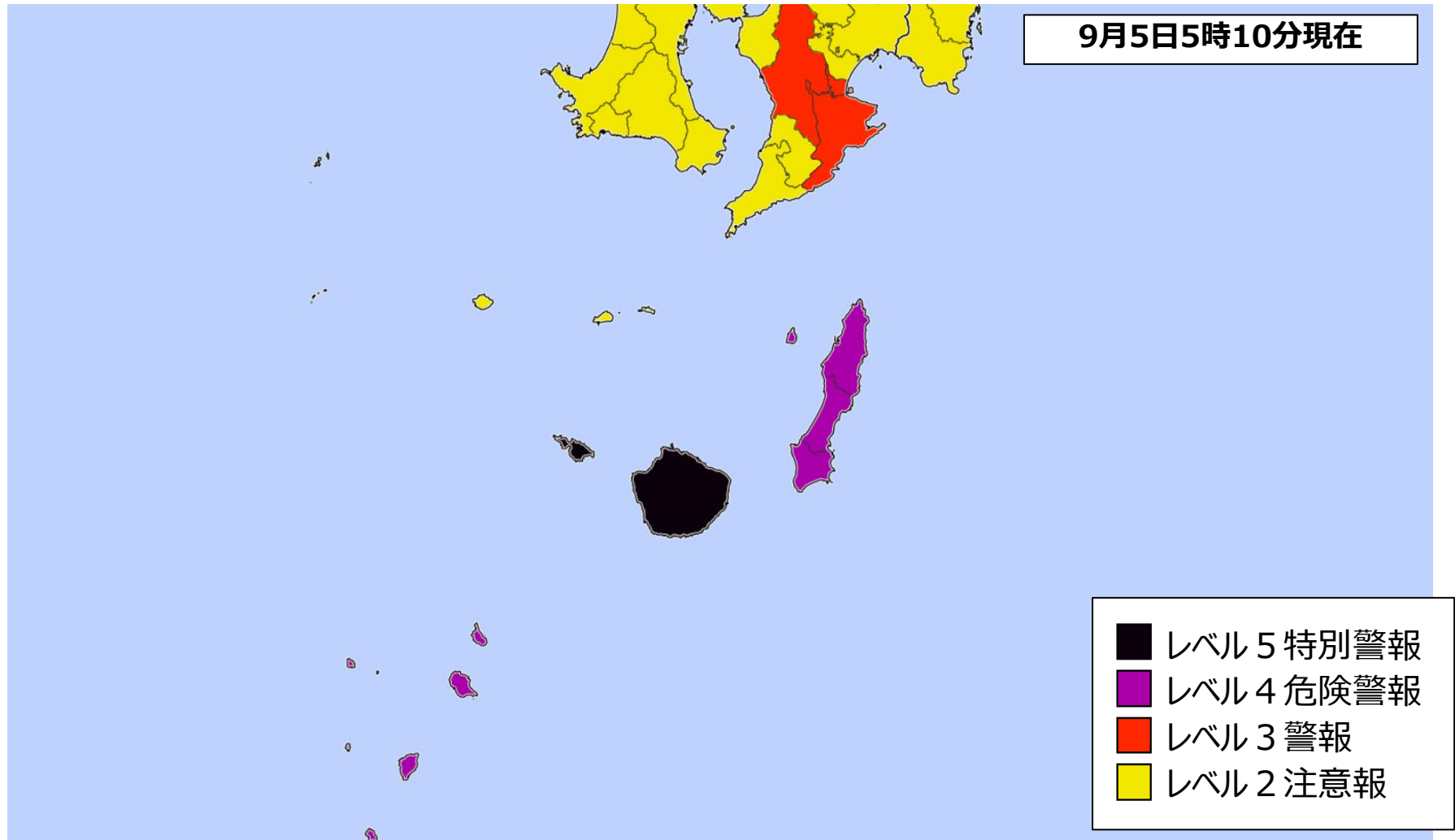
	レベル5 <u>土砂災害</u> 特別警報
鹿児島県	屋久島町

鹿児島県屋久島町に レベル5土砂災害特別警報発表

- **避難情報に直ちに従い身の安全を確保**
- **今いる場所の危険度を、「キキクル」で確認**

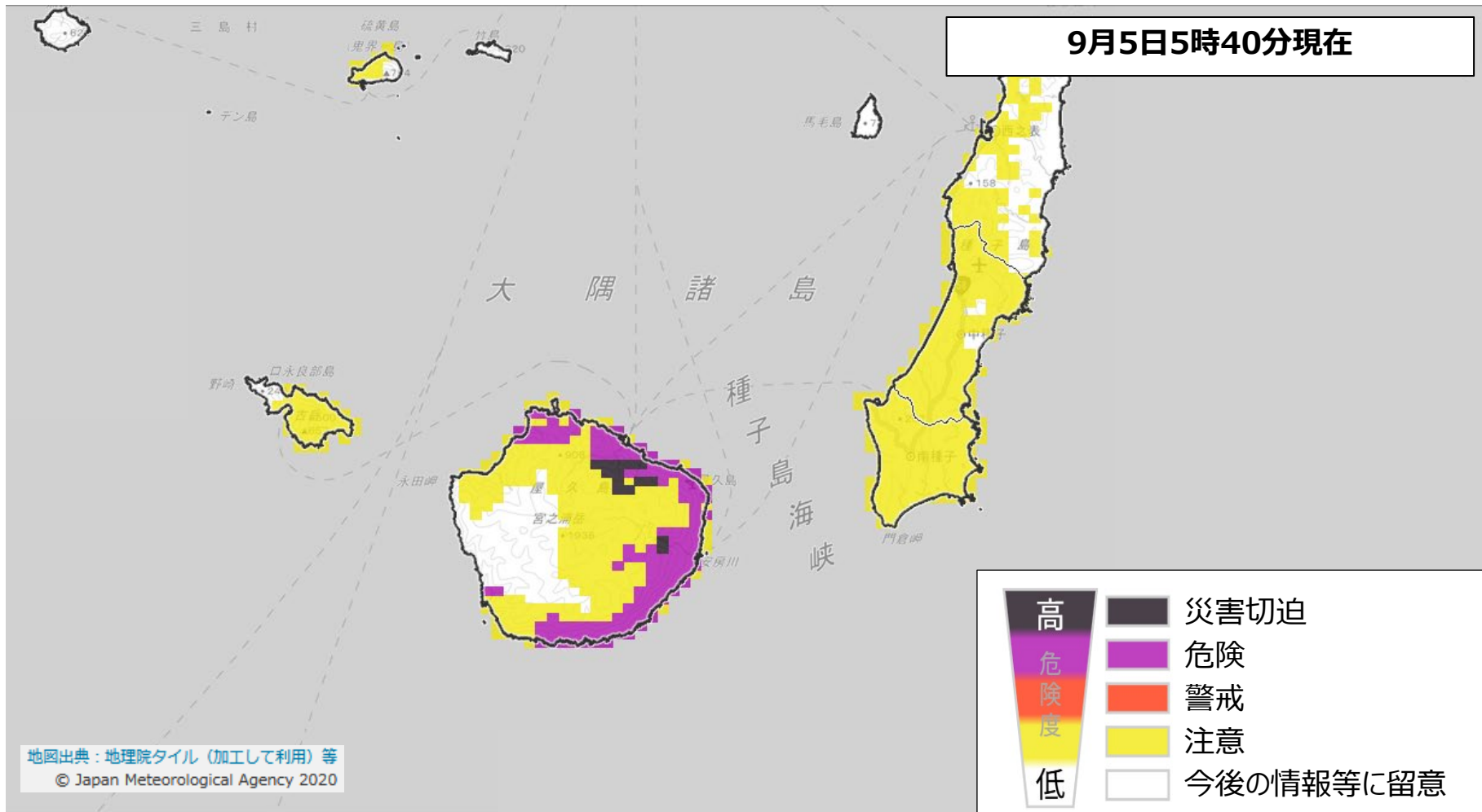
レベル5 特別警報等の発表状況

レベル5 特別警報、レベル4 危険警報等が発表されている地域
⇒ 自治体の発表する避難情報に応じて、直ちに避難の行動を



土砂キキクル（土砂災害発生危険度）

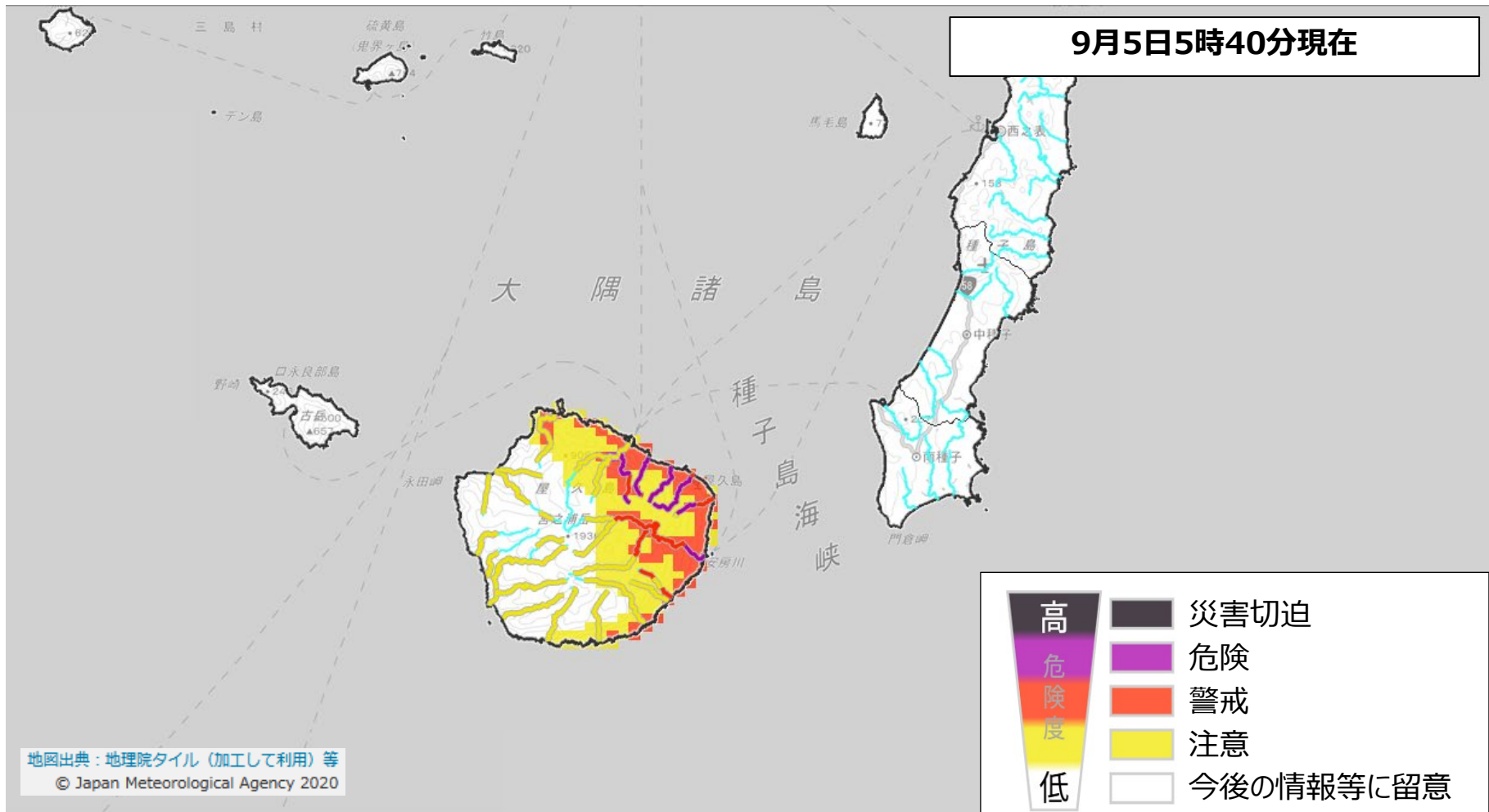
黒：重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い
紫：重大な災害がいつ発生してもおかしくない



大雨キキクル（浸水害・洪水害重ね表示）

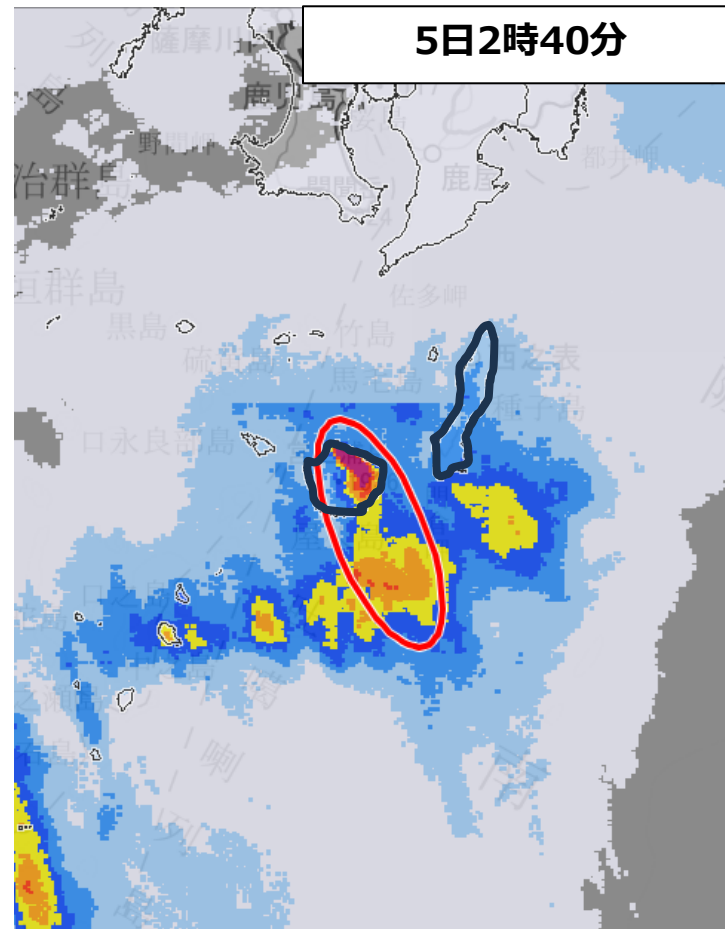
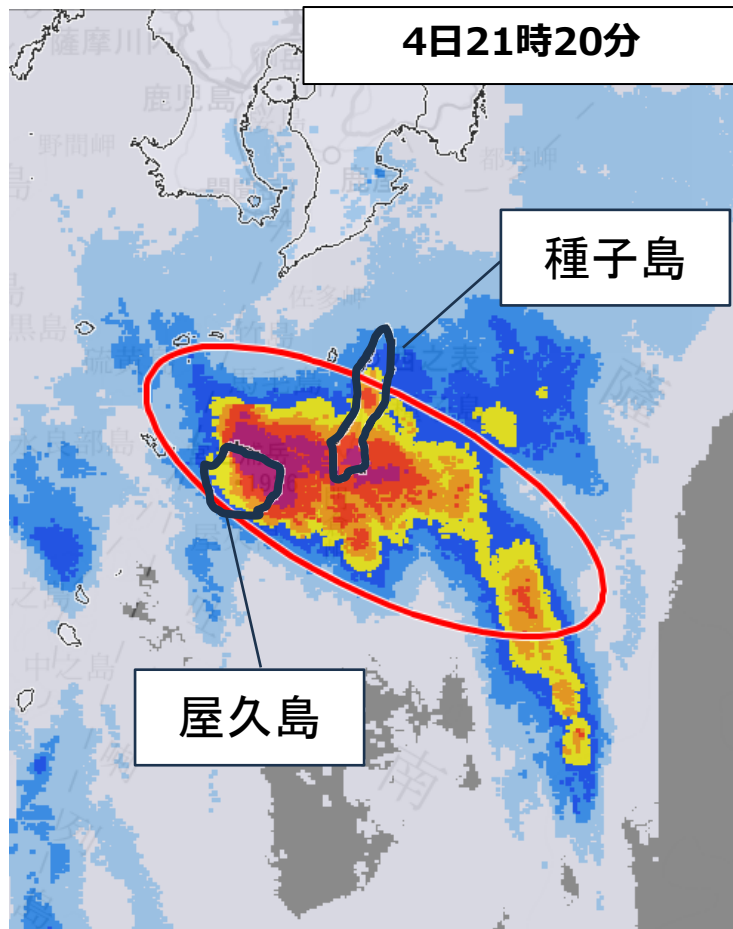
黒：重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い

紫：重大な災害がいつ発生してもおかしくない

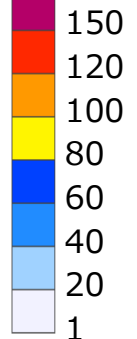


鹿児島県種子島・屋久島地方で線状降水帯発生

線状降水帯が発生し、災害発生の危険度が急激に高まっている



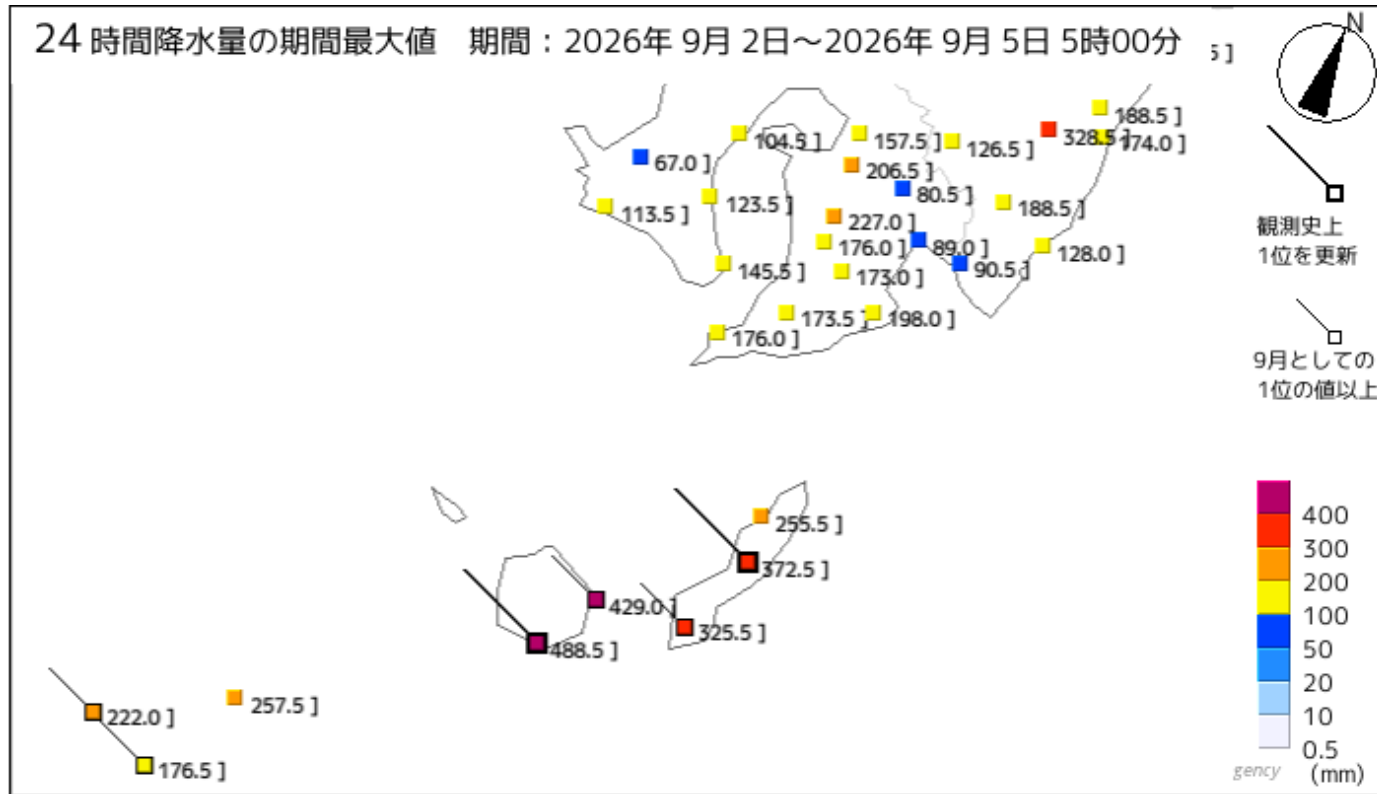
3時間降水量
(ミリ)



線状降水帯の雨域



雨の実況

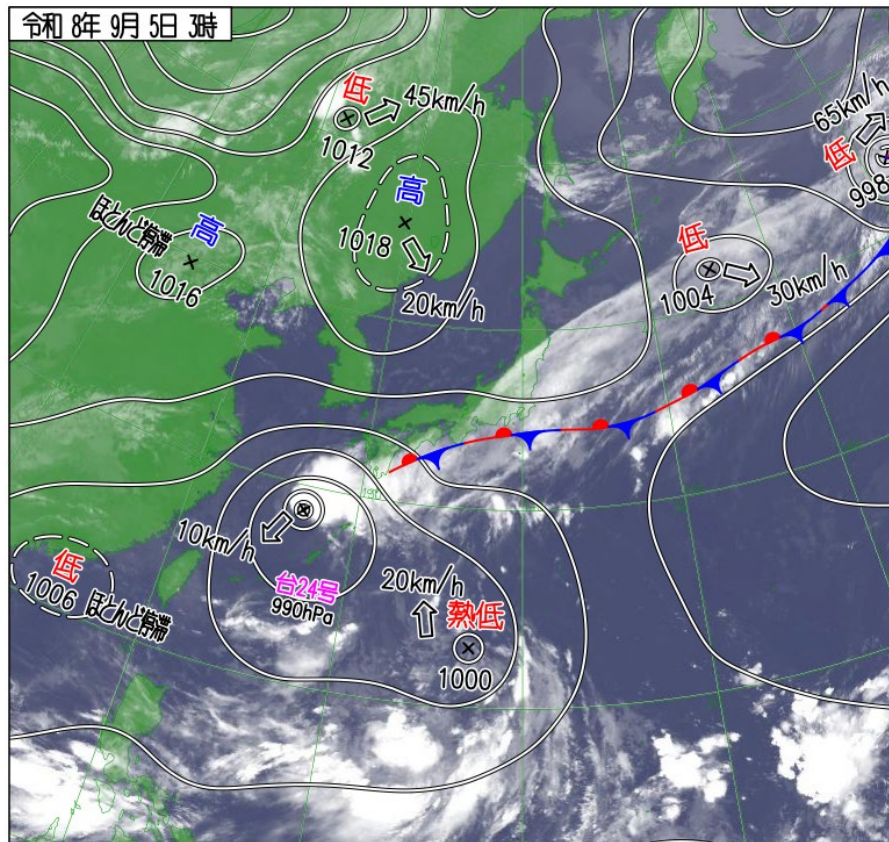


市町村	地点	降水量 (ミリ)
熊毛郡屋久島町	尾之間 (オノアイダ)	488.5
熊毛郡屋久島町	屋久島 (ヤクシマ)	429.0
熊毛郡中種子町	中種子 (ナカタネ)	372.5

天気図

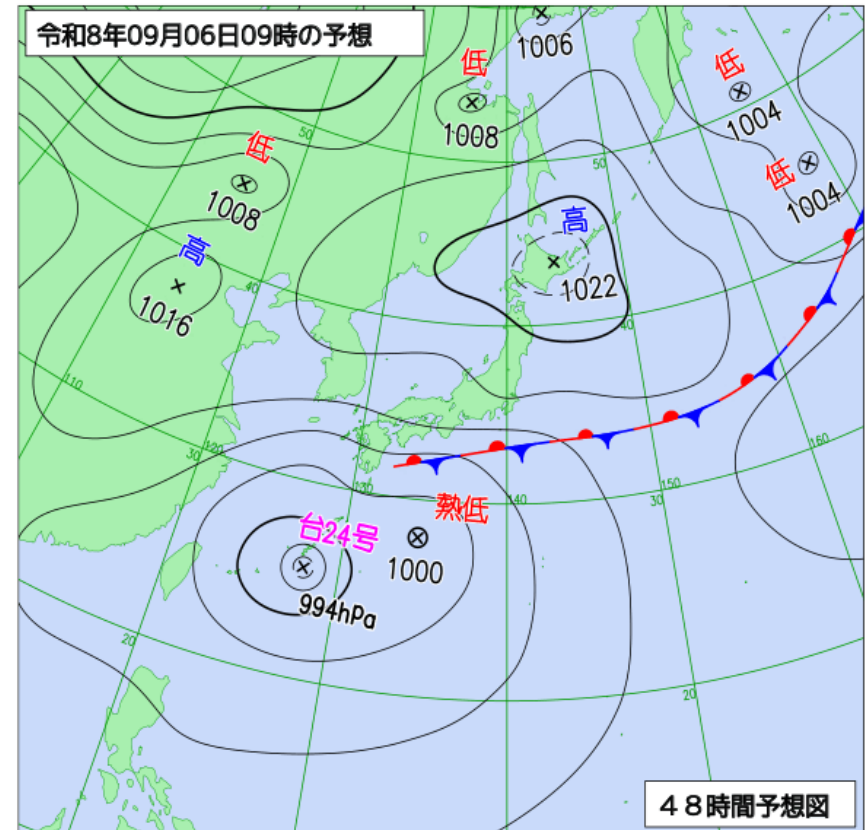
- 台風第24号周辺の暖かくの湿った空気の影響で前線活動が活発化
- 九州南部では7日にかけて大雨となりやすい状況が続く見込み

実況天気図・衛星画像



9月5日3時

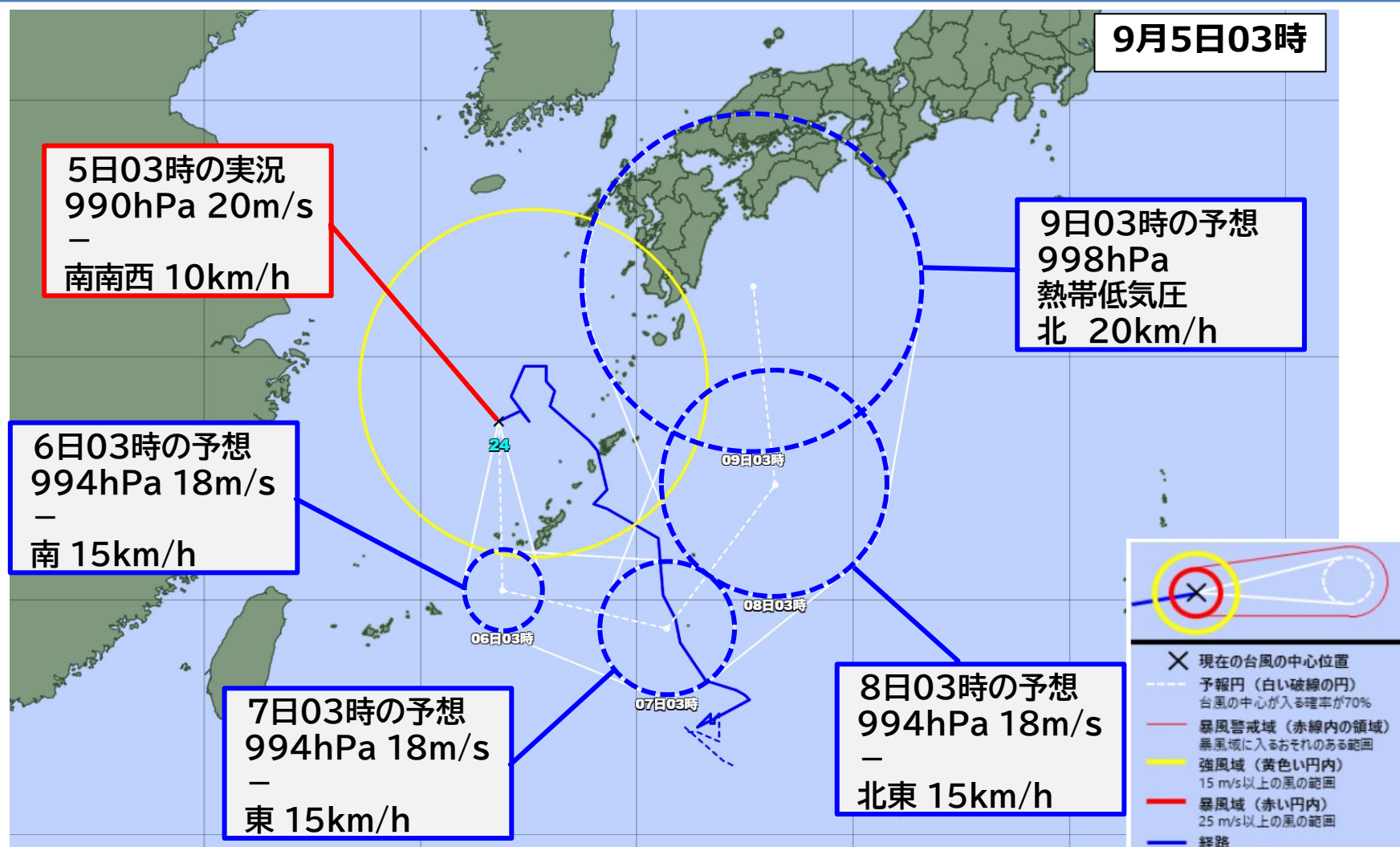
予想天気図



9月6日9時の予想

台風経路図

● 台風第24号は久米島の北にあり、明日にかけて南下する見込み



時系列情報（明日までの警報等の見通し）

2026年09月05日05時12分発表

時系列情報(明日までの警報等の見通し)

大雨・土砂災害			5日						6日								
			06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
鹿児島県 (奄美地方除く)	薩摩地方	1時間降水量	10	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	20	20	
		24時間降水量	50														
									70								
		大雨															
	土砂災害																
	大隅地方	1時間降水量	30	30	20	10	10	20	30	20	10	20	30	20	30	40	
		24時間降水量	180														
									150								
		大雨															
	土砂災害																
	種子島・屋久島地方	1時間降水量	60	60	40	20	20	20	30	20	10	30	10	20	30	40	
		24時間降水量	200														
						150											
大雨																	
土砂災害																	

:注意
 :警戒
 :危険
 :災害切迫
 予測値の単位：ミリ（1時間または24時間降水量）

鹿児島県の雨の見通し

	6日6時までの 24時間	7日6時までの 24時間	8日6時まで 24時間
薩摩地方	50ミリ	150ミリ	
大隅地方	180ミリ	150ミリ	60ミリ
<u>種子島・屋久島地方</u>	<u>200ミリ</u>	<u>120ミリ</u>	<u>60ミリ</u>
奄美地方	180ミリ		

鹿児島県屋久島町に レベル5土砂災害特別警報発表

- 最大級の警戒が必要
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒 レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



[@JMA_bousai](#)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf

参考資料：新しい防災気象情報

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

新しい防災気象情報の解説ページ

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>



(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

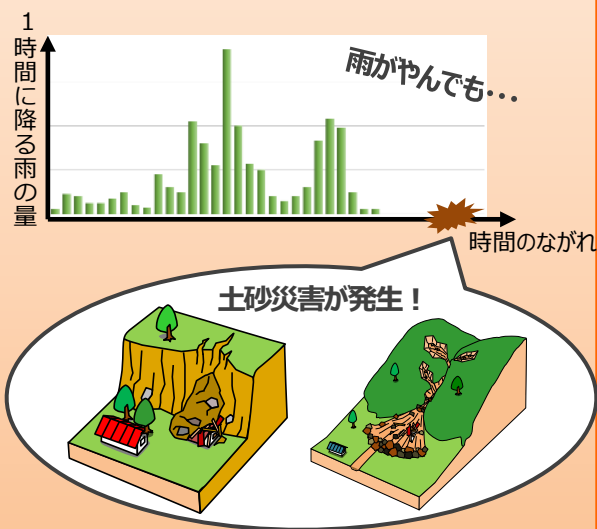


(参考) 大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

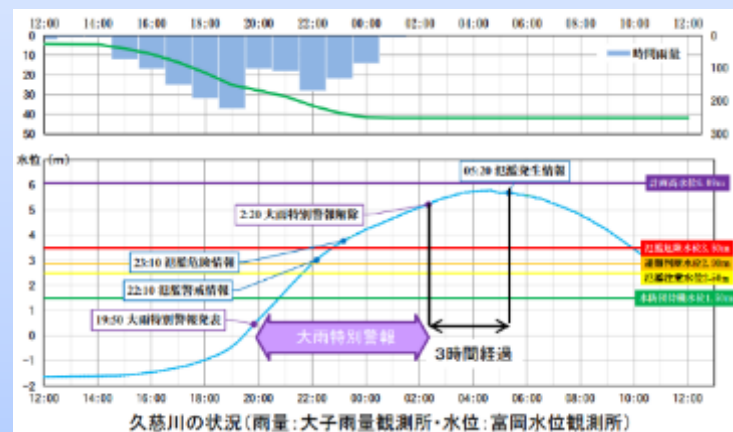
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	キキクル 災害切迫	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5 特別警報 (警戒レベル5相当情報)	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
2時間～0時間程度前	危険	レベル4 危険警報 (警戒レベル4相当情報)	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	警戒	レベル3 警報 (警戒レベル3相当情報)	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	注意	レベル2 注意報 (警戒レベル2)	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前		早期注意情報 (警戒レベル1)	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

市町村は、防災気象情報などを参考に避難情報を発令

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞